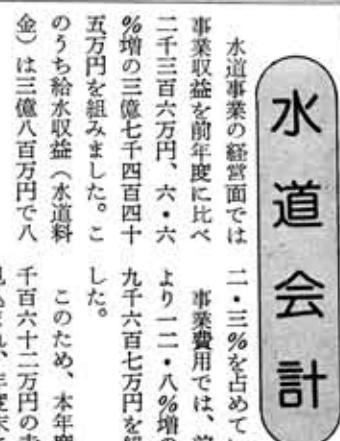


# 昭和53年度

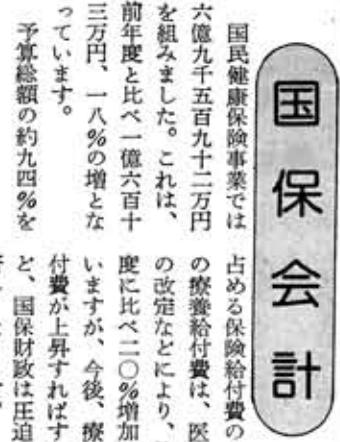
# 42億8120万

ことしの予算は、長  
びく不況化の中の市民  
の暮らしを守るために、  
(1)市民の暮らしの周辺  
の環境整備  
(2)市民の福祉と健康を  
守り高める  
(3)教育と文化の充実  
の三項目を中心として、  
一般会計では四十二億  
八千三十五万円を組み  
ました。これは、前年  
度に比べ二億千八十万  
円五・二%の増となっ  
ています。

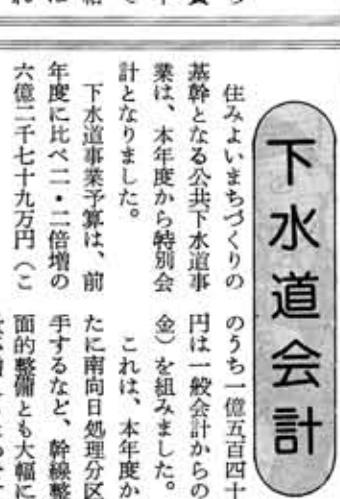
度に比べ二億千八十万  
円五・二%の増となっ  
ています。



した。  
このため、本年度は二千六十二万円の赤字が見込まれ、年度末には繰越欠損金は約九千万円になると予測され、非常に厳しい状況にあります。事業では、昨年度から事など、各施設の維持修を行います。



占める保険給付費のうちの療養給付費は、医療費の改定などにより、前年度に比べ二〇%増加して付費が上昇すればするほど、国保財政は圧迫され苦しくなります。



とに南向日処理分区に着手するなど、幹線整備、面的整備とも大幅に事業量が増えるためです。市の下水道事業は五か年目に入り、工事も順調に進んでいます。桂川右岸流域下水道の整備状況によっては、五十四年度中にも一部通水・供用開始が予定されています。

市としては、国保財政を圧迫する制度上の諸問題の解決について、国や関係機関に働きかけるとともに、運用面で、経費の効率化を図り、市民の健康保持に努力します。

## 暮らしの環境整備

市民をとりまく暮らしの周辺の環境整備は、市民が生活していくうえで、また市の発展のために非常に重要なことなので積極的に整備をはかる。



- ▷ 防火水槽の改良など・消防水利の充実 1,240万円
- ▷ 救急自動車の更新、消防装備の充実 320万円
- ▷ 街路灯の新設、改修、維持管理 612万円
- ▷ 交通指導員制度の充実 178万円



- ▷ し尿くみとり委託料 1億2,345万円
- ▷ 可燃物・不燃物ゴミ収集委託料 7,204万円
- ▷ 乙訓環境衛生組合負担金 1億円
- ▷ 小規模農道整備 250万円
- ▷ 生産緑地奨励費 169万円



- ▷ 駅前整備に関する基本調査 300万円
- ▷ 市民憲章の推進、無料法律相談広報紙を月2回に 1,069万円
- ▷ 自治会の振興とコミュニティーの促進 1,061万円
- ▷ 新しいふるさとづくりテーマに「向日市まつり」 200万円



## 教育と文化

人間性豊かな文化都市をめざし、化水準の向上、市民の体育活動の充実・環境の整備充実をはかる。

